

保護者・地域の皆様

(学校HPでも掲載しています)

校長室だより 5

令和2年9月7日(月)
三郷市立彦系小学校
田崎 研志

9月・長月を迎えました ~with コロナ 正しく向き合って~

たいへんに暑い8月でした。気象庁発表によると「気温は全国的に高く、東・西日本では記録的な高温」「1946年の統計開始以来、8月として東日本では1位、西日本では1位タイの高温」であったとのこと。

これまでで最も長い2学期がスタートし、3週間が経ちました。先日は、1・2年生の下校のタイミングで強い雨と雷があり、下校を遅らせました。暑さはまだ続きそうですし、台風シーズンを迎えます。今後も急遽下校を遅らせる等の対応があるかもしれません。子供たちの安心・安全のため、細心の注意を払い対応したいと考えています。

さて、毎日検温の上ご提出いただいている「健康観察カード」の様式を若干変更しました(備考欄)。これは、同居家族の方に風邪症状がある場合には登校を控えていただくことを徹底するためです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご協力をお願いします。

一方で、朝からたいへんに暑い日が多く、熱中症も心配されます。学校では、「暑さ指数」(WBGT)を参考に、活動を制限したり中止したりしています。休み時間に遊べないこともありますので、読書に親しんだり、工夫しながら上手に休み時間を過ごしたりすることを学んでくれたら、と期待もしているところです。日常生活では友達との距離がとる、おしゃべりしないという約束の下でマスクを外す、登下校時に周囲の安全を確認の上でこまめに水分を補給するということ、子供たちには指導しています。子供たちの身体的な負担軽減のため、学習用具等の持ち帰りについても、学年の状況に合わせて指導しています。日頃の生活の様子を聞きながら、週の学習予定等に目を通しながら、ぜひご家庭でもお声かけをお願いします。

感染を防ぐとともに、感染に伴う課題(差別や偏見)についても考えていかねばなりません。文部科学大臣からのメッセージにおいても触れられています(学校HPをご参照ください)。3月に日本赤十字社が作成・公表した「新型コロナウイルス3つの顔」を、参考まで裏面に掲載します。ぜひお読みください。

withコロナの時代。国や県のガイドラインに基づき、新型コロナウイルスを正しく恐れながら対応してまいります。

※三郷市に歯ブラシの寄贈がありました。子供たちに1本ずつ配りますので、お使いください。

家庭数

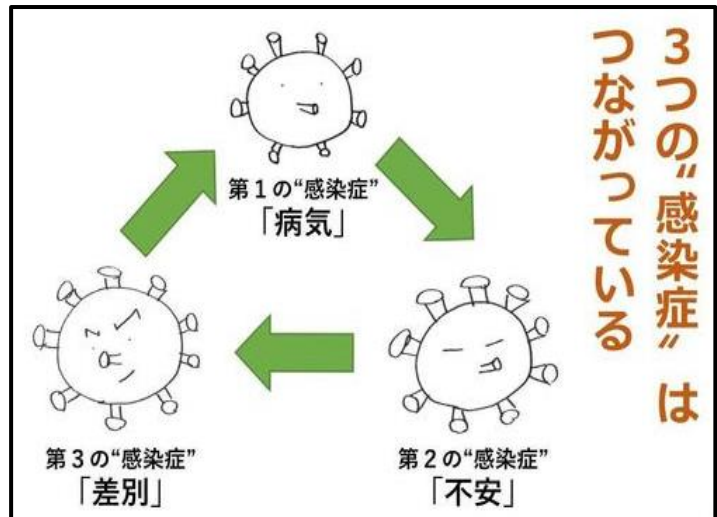
「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～」

第1の感染症は「病気そのもの」

- ・感染し、風邪症状や重症化など、一般的に知られていること。

第2の感染症は「不安と恐れ」

- ・わからないことが多いため、強い不安や恐れを感じ、振り回されてしまう。「気づく力・聴く力・自分を支える力」を弱め、瞬く間に伝染してしまう。



第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」

日本赤十字社ホームページより

- ・見えない敵（ウイルス）への不安から、特定の対象を見える敵と見なし、嫌悪の対象とする。嫌悪の対象を、偏見・差別し遠ざけることで、つかの間の安心感を得る。

新型コロナウイルスは、3つの感染症という顔を持ち、私たちの生活に影響を及ぼします。第1の感染症を防ぐためには、手洗いやマスク着用（咳エチケット）、3密を避けるなどの新しい生活様式が 自分のためにも家族や周りの大切な人のためにも必要であることは、十分に子供たちも理解していることと思います。

しかし、第2の感染症に振り回されなため、第3の感染症を防ぐためには、少々大人が必要かもしれません。正しい理解の下で、冷静に考え、判断し、行動することが必要です。確かな情報に基づくことも必要です。憎むべきはウイルスであり、決してその矛先が罹患者やその家族、医療従事者等に向かってはなりません。

「感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。」（文部科学大臣メッセージより）

現段階での科学的知見や見解に基づいて、正しく恐れること・向き合うことが重要と考えます。情報に振り回されることなく、差別や偏見、誹謗中傷等を許さない。そんな状況を、子供たちの健やかな成長のためにつくっていききたいものです。